

成果の説明書

(氏名) 西川静華	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>【研究活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公共財の自発的供給に関する研究 以前から引き続き、供給されるためにある一定水準の貢献を必要とする公共財への自発的貢献の研究を発展させ、査読付き学術論文雑誌に投稿する準備を進めた。 ● プロスペクト理論を組み込んだ Volunteers' Dilemma の実験研究 早稲田大学の上條教授と共同で令和 5 年度に行った実験の結果をまとめたものを 6 月 7 日に慶應義塾大学経済学部のマイクロ経済学ワークショップにて発表し、3 月に査読付き学術論文雑誌に投稿した。 ● 動学的 Volunteers' Dilemma の実験研究 早稲田大学の上條教授と共同で動学的 Volunteers' Dilemma の理論モデルの構築を進めた。 <p>【教育活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 講義：初級マイクロ経済学Ⅰ、Ⅱ、ゲーム理論Ⅰ 初級マイクロ経済学Ⅰでは毎回 Forms を用いた課題を提出させた。初級マイクロ経済学Ⅱでも同様に毎週の課題を提出させたところ、知識の定着率が高かった。 ゲーム理論では繰り返し演習問題を出し、隔週で課題を提出させ、期末レポートと期末試験を実施した。 ● 基礎演習 マイクロ経済学の教科書を輪読し基礎的な知識を身に着けると共に、時事問題についてマイクロ経済学を用いて分析する練習として様々なトピックを用いて討論した。 ● 演習Ⅰ 前期の前半は時事問題について経済学を用いて議論をし、その後に行動経済学の教科書を輪読。またグループごとに一つトピックを選ばせてマイクロ経済学やゲーム理論を用いて総括的に分析したものを論文にまとめさせた（中間発表二回、最終発表一回）。 ● 演習Ⅱ 前半は卒論のテーマ選びと就職活動のために時事問題について経済学を用いて議論をし、その後は各自卒業論文の執筆とその発表（中間発表二回、最終発表一回）を行った。 	
<p>2 その他の事項</p> <p>【学内業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国際交流センター委員会 	

【社会貢献】

- 財務省財務総合政策研究所の高度理論研修にてミクロ経済学を担当
- 日本経済学会若手研究支援・男女共同参画委員会の委員（任期 3 年）として日本経済学会 2024 年度秋季大会において、企画セッション「パネル討論：経済学部への女子進学希望者を増やすには？」の企画を行い、座長を務めた。

3 次年度以降の計画・抱負

- プロスペクト理論を組み込んだ Volunteers' Dilemma の実験手法を再検討し、次年度前半にさらなる実験を行い、データを収集する
- 動学的 Volunteers' Dilemma の理論モデルの構築を終え、次年度後半に実験を行う
- より効率的で分かりやすい講義の運営手法を模索する
- 演習の円滑な運営と 4 年生への丁寧な卒業論文指導に努める